

第2学年 国語科学習指導案

指導者 井上 真季

1 日 時 平成27年1月21日(水) 5校時

2 学年・学級 2年5組(男子15名 女子15名 計30名)

3 単元名 「お話びじゅつかん」を作ろう

4 単元の目標

- 紹介したいことを決めすすんで書いたり、感想や意見を持ちながら話したり聞いたりできる。(関心・意欲・態度)
- 紹介したいことを相手に伝わるように話したり、大事なことを落とさないように聞いたりすることができる。(話すこと・聞くこと)
- 物語を読んで感じた自分の思いや考えをまとめ、好きな場面を紹介する文を書くことができる。(書くこと)
- 登場人物の気持ちを読み取り、想像を広げながら読むことができる。(読むこと)
- 句点や誤字脱字に気をつけて、文を書くことができる。(言語事項)

5 単元について

本学級の児童は、自分で本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりするのが好きで、意欲的に読書に取り組む児童が多い。一方で、文字の少ない絵本、迷路やまちがいさがしの本ばかりを読んでいる児童もいる。また、本を読むだけで終わってしまい、「本を読もう」のカードに「おもしろかった」などの簡単なひとこと感想しか書けない児童もいる。そこで、絵や図を楽しむだけでなく、物語の内容を読み取り感想を書いたり、話したり、聞いたりすることで、豊かな読書活動につなげてほしいと考える。

本教材では、自分で本を選び、おもしろいところや好きな場面を紹介する。紹介するためには本を読み込んで、その感想を聞き手に伝わりやすいように書いたり話したりする必要がある。聞き手がその本を読みたくなるような紹介文を書くために、表現を工夫することができる。また、好きな場面を絵に描いたり、表題をつけたりすることで、感想を効果的に表現することもできる。友だちが紹介したさまざまな本に接することで、読書のジャンルを広げることのできる教材である。

指導するにあたり、国語の教材「ないた赤おに」で好きな場面を紹介する、図書の時間に借りた本を紹介する、といった学習に取り組んできた。本単元では、これまでの取り組みを生かして、本を読み込む、感想を持つ、紹介文を書く、本を紹介する、友だちの紹介

を聞くという流れで、今後の読書に対する意欲を高めることを目標としている。

第1次では、3学期の学習でおすすめの本を紹介することを知らせ、自分の紹介したい本を選ばせた。選んだ本を冬休みの期間を利用してじっくり読み込んでくるようにした。

第2次では、まず「ないた赤おに」で学習した「文を書くときのポイント」(①「。」(句点)をつける、②ひらがな・カタカナ・漢字を正しく使う、③読みたくなる工夫をいれる)を確認する。そして、選んだ本を再度読み返しながら、紹介文を書かせる。読みたくなる工夫として子どもたちが挙げていた、本を選んだ理由を書く、おたずね文をいれる、順序を表す言葉をいれる、結末をふせておくなどを押さえておく。読み手を意識させ、書く時のポイント3つに注意して取り組ませたい。ペアトークでは、書く時のポイントをもとに見直し、清書をさせる。そのあと、紹介する本の好きな場面を絵に描き、内容を捉えた短い言葉でタイトルをつけさせる。そうすることで、紹介する本への興味をさらに深めさせたい。

第3次では、一人ひとりが自分の紹介文と絵を使い、おすすめの本を紹介し合う。最初に、見直しの時とは違うペアを組み、ペアトークで本の紹介をし合う。次に、ペアトークで話した内容を全体にも発表する。発表の場をペアトークから全体の場合へと発展させることで、一人ひとりが発言できる機会が持て、発言することへの抵抗感も減らすことができると考える。聞き手には、あとで尋ねたりいいところを見つけたり、感想をもてるような聞き方を意識させたい。そのために、全体で発表するときは、評価プリントを用いて紹介を聞きながら簡単な評価をさせる。友だちの本の紹介を聞いて、読んでみたい本を見つけ、読書意欲を高め合いたい。

6 単元における評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい本を選び、すすんで読もうとしている。 ・聞き手がその本を読みたくなる工夫をして、紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して、本の紹介文をもとに話している。 ・本の紹介文を聞いて、たずねたり感想を伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して読みたくなる工夫を取り入れた紹介文を書いている。 ・書いた文章を読み合い、良いところを見つけたり、まちがいを直したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や登場人物の気持ちの移り変わりに気づきながら読んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「。」(句点)をつける。 ・ひらがな・カタカナ・漢字を正しく使っている。 ・必要に応じて、順序を表す言葉を使っている。

7 指導計画（全9時間）

第1次 <本を選ぶ、読み込む>〔冬休み中〕

- ・図書室で紹介したい本を選び、冬休み中に読み込む。

第2次 <書く、読み直す>〔6時間〕

- ・紹介したい本の、あらすじをまとめる。(1)
- ・文を書くときの大事なことを確かめ、紹介文を書く。(1)
- ・ペアトークで見直し、清書をする。(2)
- ・紹介する本の中から心に残った場面や出来事を絵に描き、タイトルをつける。(2)

第3次 <紹介する>〔3時間〕

- ・ペアトークで紹介し合い、その後全体に発表する。(2) 本時1/2
- ・「お話しじゅつかん」で本を紹介し合う。(1)

8 本時の目標

- 紹介文と好きな場面を描いた絵をもとに、ペアトークや全体の場で話したり聞いたりすることができる。

9 本時の授業展開

学習内容	指導上の留意点	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 ・前時の学習を振り返る。 ・本を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・ペアトークで紹介し合う。 ・ペアトークで紹介したことを、全体に発表する。 	<div data-bbox="580 1227 1323 1281" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 自分のえらんだ本をしょうかいし合おう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くときのポイント」を確認させる。 ・ペアトークがうまく進んでいない組には、絵を手がかりにして話を進めるよう援助する。 ・話す側の注意点と、聞く側の注意点について、それぞれ確認させる。 話す側…声の大きさ 読む速さ 聞く側…顔を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して紹介文を、相手に伝わるように読んでいる。 ・相手の話をよく聞いて、意見や感想を交流している。

<p>・本時のまとめをする。</p>	<p>感想を言う よかったところ おたずねをする</p> <p>・声の大きさ、話す速さ、内容のわかりやすさ、紹介を聞いて読みたくなったか、の観点で、○や△の評価をつけさせる。</p> <p>・ペアトークや発表を聞いた感想を交流させる。</p>	
--------------------	---	--

10 板書計画



11 授業の視点

- ペアトークから全体へと二段階の本の紹介をすることで、意欲的に話したり聞いたりできたか。また、それらが読書意欲につながるための有効な手立てであったか。

12 成果と課題

【成果】

- ・ ペアトークから全体へと二段階の本の紹介をすることで、発表に慣れることができた。
- ・ 紹介文だけでなく絵を活用することで、聞き手もイメージしやすく質問や感想を言うことができた。

- 全体の発表でチェックシートを記入することで、紹介文の内容や発表の態度について意識しながら聞くことができた。
- いろいろな紹介を聞くことで、読んだことのない本にも興味を持つことができた。

【課題】

- 質問や意見が、発表の態度についてのことに偏ってしまった。紹介文の内容に触れる質問が出にくかった。
- ペアトークでは、お互いの紹介文を発表するだけになっているペアがあった。
- チェックシートを記入する際の、評価の基準が明確でなかった。